

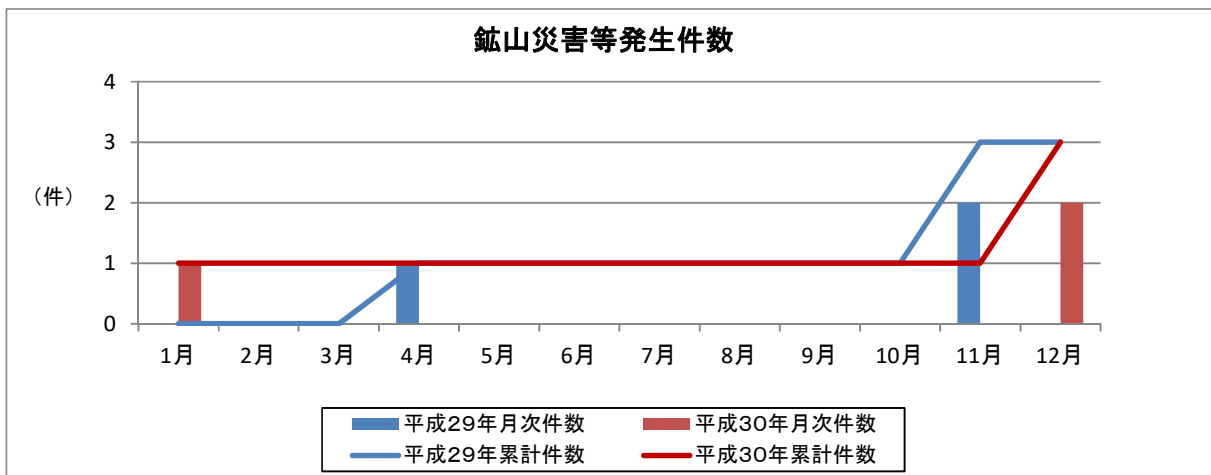
【平成30年】

■管内における事故発生状況(12月速報値)

※数値は事故速報ベースであり、各月のデータ積み上げが年累計と異なる場合があります。

○鉱山保安法関連(災害等)

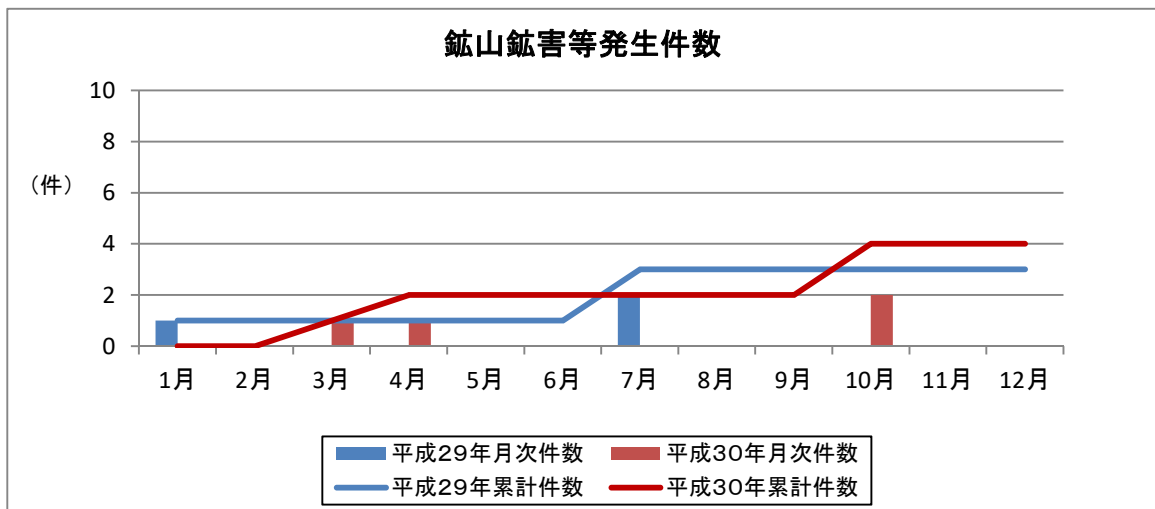
災害等の種類	30年12月分				前月件数	前年同月件数	30年累計				29年累計			
	件数	死傷者数					件数	死傷者数			件数	死傷者数		
		死	重	軽				死	重	軽		死	重	軽
火災														
取扱中の器材鉱物等のため										1				
運搬装置のため(車両系鉱山機械又は自動車のため)													1	
運搬装置のため(その他)										1	1		1	
墜落	1			1						1	1			
転倒														
灼熱溶融物のため														
落下物又は倒壊物														
その他	1									1				
合計	2	0	1	0	0	0	3	0	2	0	3	0	2	0



- ①【発生年月日】平成30年1月26日
 【場所(県名)】岩手県
 【事業者区分】石灰石鉱山
 【災害の種類】運搬装置のため(コンベアのため)
 【災害の概要】ベルトコンベア運転中、テールプーリに石がこぼれてきたのを見て、停止せず鉄製のテコ(長さ600mm、幅35mm、厚さ10mm)を右手に持って、これを除去しようとしたとき腕を巻き込まれ罹災した。
 【被災の状況】重傷1名(右腕神経叢引き抜き損傷、右母指末節骨開放骨折)
- ②【発生年月日】平成30年12月11日
 【場所(県名)】青森県
 【事業者区分】石灰石鉱山
 【災害の種類】発破又は火薬類のため(飛石)
 【災害の概要】露天採掘切羽で発破を行ったところ、飛石(15cm×15cm×5cm)が発生し、約35m離れたポンプ車の助手席の窓ガラスを破損した。
 【被災の状況】罹災者なし。
- ③【発生年月日】平成30年12月25日
 【場所(県名)】福島県
 【事業者区分】石灰石鉱山
 【災害の種類】墜落
 【災害の概要】ベルトコンベアの清掃作業を終えた作業員が落鉱などが堆積した斜面で足を滑らせ、バランスを崩し、約1.7m下へ墜落し、罹災した。
 【被災の状況】重傷1名(左手橈骨遠位端骨折)

○鉱山保安法関連(鉱害等)

鉱害等の種類	30年12月分	前月件数	前年同月 件数	30年累計	29年累計
坑廃水	0	0	0	3	0
鉱煙	0	0	0	0	0
粉じん	0	0	0	0	0
集積場	0	0	0	0	0
騒音・振動	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	1
小計	0	0	0	3	1
その他自然災害に伴う鉱害	0	0	0	1	2
合計	0	0	0	4	3



①その他自然災害に伴う鉱害

発生年月日: H30. 3. 9 12:40~14:10

3月8日16時から3月9日12時にかけて125mmの降雨があり、処理原水が増加し、処理能力を超えた坑内水(0m坑水、+15m坑水)を貯留する非常貯水槽が満杯となり、溢流した。

溢流水のうち、2,700リットルの坑水が道路側溝を経由して河川に流入したと推定される。

②苛性ソーダの排出(基準超過(pH)の廃水排出)

発生年月日: H30. 4. 8(認知)

廃水処理所付近に、緊急時の中和処理施設として設置されていた苛性ソーダタンクから苛性ソーダが漏洩し、防液堤内に貯留されていたが、廃水処理作業員が、不用意に(苛性ソーダと認識せずに)防液堤内をドレン排水した結果、貯留していた苛性ソーダが、鉱山施設の水路を経由し、公共用水域(河川)に排出された。ドレン排水は、推定で3月14日、18日、24日に行われ、苛性ソーダの排出総量は約650リットル。

③油の排出

発生年月日: H30. 10. 3 11:00~

関係者がセパレータタンク下部の木栓を開閉レバー付きバルブに交換しようとしたところ、口径が合わなかったため取り付けできず、セパレータタンク内に溜まった油混じりの坑水(約3,000ℓ)が敷地内に流れ出し、その内の一部を回収したものの約2,000ℓの坑水が敷地内の雨水排出口から、下流の農業用水路へ流出した。

④排水基準の超過(基準超過(銅、亜鉛、溶解性鉄)の廃水排出)

発生年月日: H30. 10. 9 16:30~10. 10 8:20

廃水処理施設の送水ポンプの配管のジョイント部分が外れ、未処理水の一部が河川に流出(流出量は推定で最大102m³)した。周辺の河川においては、魚等への被害は確認されていない。